

「実は、税金の払いすぎで損しているかも・・・」

## 会計業務のアウトソーシングで会計処理の見直しを

財務税務コンサルを中心に、現地法人や販売拠点立ち上げサポートなど幅広いコンサルティングサービスを行っている上海M-TAC。顧客はすべて日系企業、日本の地方からの零細・中小から上場企業、金融機関まで幅広い顧客をサポートしている。同社の強みは日本の税理士資格を持ち、日中双方の会計基準を熟知する日本人スタッフによる質の高いサービスにある。

上海M-TACの富永雅弘・董事総経理は「今年は、中国進出数年目以上という進出経験の長い日系メーカーからも問い合わせが増えている」という。これまで在中日系中小企業は、年度監査のみを会計事務所に依頼することが多かった。しかし、金融危機を生き抜いた企業は、表面的なコストダウンに限界に近いことを感じとり、「プロの視点を借りて、社内の会計処理を根本から見直してみよう」と、会計業務のチェックやアウトソーシングに関心を示しているという。

そもそも中国でビジネスをするなら、その税務を理解することは必須だ。しかし実際は、中国人会計担当者に代々任せきり、日本人の駐在員経営者は知識もほとんどないというケースが多い。そうした環境のもと、会計担当者は会社の資金繰りよりも税務署に

指摘されないことを最優先し、最も保守的な判断を行いがちになる。その結果、必要以上に多く納税していたり、納税資金の準備などで資金繰りが苦しくなっているケースもあるという。

例えば、3ヶ月ごとに納税する企業所得税について、特に季節により販売量が左右される商品を扱う企業の場合、売上の計上タイミングにより一時的に税金の過払いが発生し、その還付は政府財政状況に左右されるなど、不安定要素が多いため、会計上の計上タイミングに関するノウハウが必要とされる。このような払いすぎ傾向を意識していないと、気付かないうちに大きな損が発生している可能性がある。

会計・税務のチェックを外部委託したりアウトソーシングすることで、このように「慣習となって気づかない損失」が指摘されるだけでなく、会計のプロが伝票をひとつひとつチェックするため、会計処理プロセスや資金繰りの見直しも随時行うことができる。さらに大きなメリットが、日本本社への会計報告がスムーズになることだ。経験豊富な日本本社の経理担当者に「中国と日本の会計基準の違い」を聞かれて的確に答えられる営業もしくは技術出身の総経理は非常に少ない。



富永董事、森田代表、富永総経理

日中双方の会計、税務に通じたM-TACなら、本社からの問い合わせにいつでも日本語で回答してくれる。

専門的なサービスを受けるにあたり、中小企業にとって気になるのはその値段だが、M-TACの会計業務をアウトソーシングする場合は月々4000円から。会計担当者を1名雇用するのと同程度だろう。月に1、2回、会計のプロがクライアント企業を訪問し、記帳からトータルにサポートしてくれる。また会計財務コンサルティング業務もリーズナブルな料金を設定している。

マンパワーに限りのある中小企業だからこそ、会計という専門業務をプロに任せ、本業だけに専念することは合理的と言える。会計体制の根本的な見直しを通じてしっかりとした基礎を築くことが、企業のさらなる成長につながることは間違いない。

**“中小企業の味方” 中国で頑張る中小企業を応援します!!**

**財務会計・企業設立・総合コンサルティング**

**11月 外灘事務所オープン!**

Morita  
Tax  
Accounting  
Consulting

**MTAC**

**上海M-TAC企業管理諮詢有限公司**

上海市静安区新開路831号麗都新貴16楼D座  
TEL:021-6287-2887 FAX:021-6287-2889  
担当:富永、松山、呉、山口、宮澤 E-mail:main@shmtac.com  
http://www.shmtac.com  
<外灘事務所>  
上海市黄浦区黄浦路99号上海灘國際大廈13F

**森田茂伸税理士事務所**

兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17 ニッセイ三宮ビル6階 TEL:078-393-2887 FAX:078-393-2889  
E-mail:main@moritaoffice.com http://www.molta.jp

**株式会社Bソフト(販路拡大・中国進出コンサルティング)**

熊本県熊本市護国町2444 TEL:090-5722-1937 http://b-soft.jp